



平成30年7月24日

「うまいよ！るもい市」で留萌の港と特産物を御紹介

～「みなと見学会」開催と「わが村運動ブース」出展～

留萌開発建設部では、「うまいよ！るもい市実行委員会」が主催する「うまいよ！るもい市」の開催に合わせて、港湾業務艇「ゆりかもめ」による「みなと見学会」と「わが村は美しくー北海道」運動ブース出展（農産加工物等のPR販売とパネル展示）を下記のとおり行います。

記

1 みなと見学会について

この見学会では、80年以上にわたって留萌の街を波浪による災害から守り続けている留萌港南防波堤（平成22年11月に土木学会選奨土木遺産に認定）や、大規模地震発生時には緊急物資の受入を行う同港三泊ふ頭の耐震強化岸壁などを参加者の方々に御紹介します。

なお、みなと見学会への参加者は、「うまいよ！るもい市」当日10時から市場前で受付します。

- (1) 日 時 平成30年7月29日（日）10：20～12：50
- (2) 見学場所 留萌港内（詳細は別紙1を御参照ください。）
- (3) 内 容 3回の航海を実施（1回30分程度。1回の乗船定員20名、雨天時は12名）
- (4) 乗船受付場所 留萌地方卸売市場前（留萌市明元町5丁目）

※乗船受付は、3航海とも10：00から受付を行います。

いずれの航海も定員になり次第、受付を終了します。

2 「わが村は美しくー北海道」運動ブース出展について

本運動は、住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的としています（詳細は別紙2を御参照ください。）。この取組の一環として、「うまいよ！るもい市」においてブースを出展し、本運動参加団体のうち「さとやの会（増毛町）」による地域特産物や農産加工物等のPR販売と、本運動に関するパネル展示を行います（出展団体は別紙3を御参照ください。）。

- (1) 日 時 平成30年7月29日（日）10：00～14：00
- (2) 場 所 留萌地方卸売市場（留萌市明元町5丁目）うまいよ！るもい市会場

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部

1 みなと見学会 留萌港湾事務所 所 長 杉山 盛行 電話 0164-42-1205（内線 20）

第1工務課長 佐々木洋介 電話 0164-42-1205（内線 30）

2 わが村運動 土地改良情報対策官 堀米 聡 電話 0164-42-2381（内線 277）

土地改良情報係長 神山 友美 電話 0164-42-2381（内線 288）

留萌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitter アカウント @mlit_hkd_rm



7月29日(日)「うまいよ！るもい市」でみなと見学会を開催します

北海道開発局 留萌開発建設部では、7月29日(日)の「うまいよ！るもい市」と合わせて、**港湾業務艇「ゆりかもめ」**による、**みなと見学会**を開催します。

見学会では、平成22年11月に土木学会選奨土木遺産に認定された留萌港の南防波堤のほか、同港の岸壁や巨大な消波ブロックを船上で見学していただきながら、みなとの役割や歴史などを紹介します。普段、陸上から眺める留萌港とはひと味違う景色を楽しみながら、みなとのことを勉強してみませんか？



土木学会選奨土木遺産 留萌港南防波堤 を近くから見るができます。

平成22年、留萌港は築港から100年を迎えました。この記念の年に、保存すべき歴史的土木構造物として、**留萌港南防波堤が土木学会選奨土木遺産に認定されました。**

南防波堤は、明治43年に建設が始まり、厳しい波浪に悩まされながらも、当時の技術を結集して19年後の昭和4年に完成しました。現在の防波堤は改良工事を行うなどして建設当時の姿とは少し様変わりしましたが現在も留萌のまちを波浪による災害から守り続けています。

「ゆりかもめ」運航予定

| 出港時刻 | 乗船受付 |
|-----------|--------|
| 第1便 10:20 | 10:00~ |
| 第2便 11:20 | |
| 第3便 12:20 | |

※市場前の岸壁から出港します。
多数の御参加をお待ちしております。



港湾業務艇「ゆりかもめ」



南防波堤に使用する
国内最大級の80t型消波ブロック



現在も留萌のまちを
守り続ける南防波堤

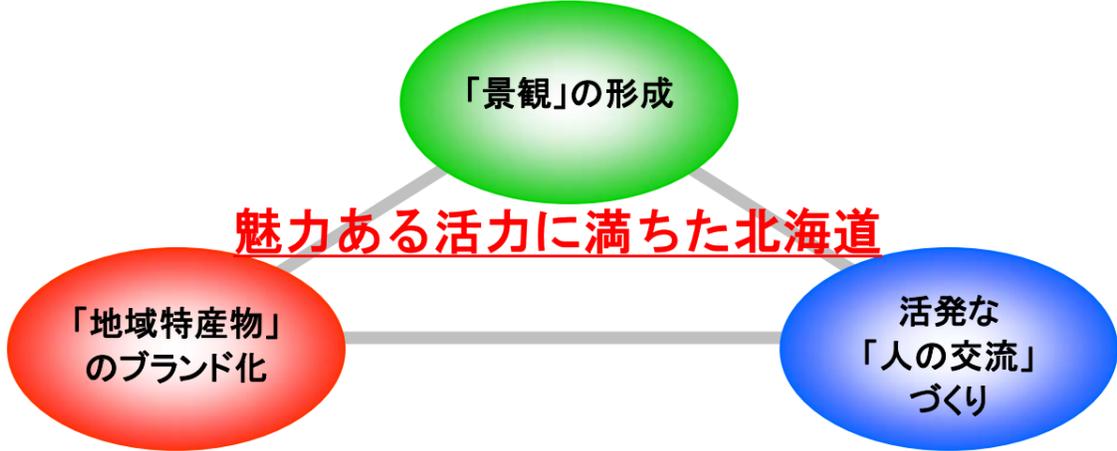


「わが村は美しく-北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

団体の活動事例

自家農園で収穫した農作物を加工、販売し地産地消をめざす。(さとやの会)【増毛町】



地域特産物を使った商品を開発して、留萌をPR。(留萌千望高校)【留萌市】



多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

- **参加しよう**—中心となるのは、**地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げよう**—活動の輪を大きく、自由に 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えよう**—北海道の「いいもの」を、もっと外へ 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

「わが村」運動 コンクール

活動団体

応募

(1年目)

現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

〔全応募団体の現地調査を実施〕
〔現地調査結果の内容等からブロック別に審査し、表彰団体を選考〕

表彰式

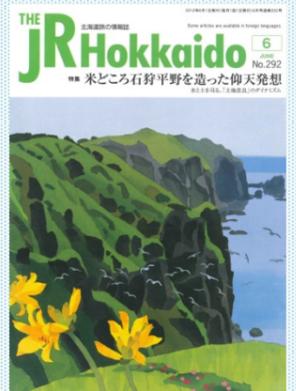
(2年目)大賞の選考

〔優秀賞受賞団体から審査を行い、表彰団体を選考〕

大賞表彰式

多くの人に伝えるための取組

- ホームページへの掲載
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
「THE JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し
団体活動を紹介
- facebook(フェイスブック)の取組
→活動団体の最新情報を広く発信
(NPO わが村は美しく-北海道ネットワークとの共同運営)



【出展団体のご紹介】

～ さとやの会 ～

はじまりは？

平成18年1月に増毛町内の果樹農家の主婦3名で結成し、坂口・富野・山口それぞれの頭文字を取り「さとやの会」と命名しました。

富野果樹園内の加工施設で、地元産の野菜・果物を使って福神漬け「かあちゃん漬け」等を作りイベント等で販売し、学校給食にも食材を供給しています。

当初は野菜だけで作っていましたが、町内の食堂から「果樹園なのに果樹は使わないの？」と言われ、摘果した梅を塩漬けして入れるようにしました。梅を入れた福神漬けは他で見られず、独特の食感を作り出しています。



商品の様子

おもな活動



保育園訪問の様子

地元産の野菜や果物を活かし、福神漬け「かあちゃん漬け」や、特産の果物を使ったジャムや、りんご・梨のコンポートを手作りで行っています。

平成18年から、増毛町の保育所や幼稚園を訪問し、収穫した果物を贈る活動を毎年行っています。町内の子供たちにおいしいものをプレゼントするのが楽しみです。最近の子供たちは果物をあまり食べないのですが、そんな子供たちに果物を食べさせておいさを伝えることが楽しみになっています。

町内外の観光イベントや留萌振興局で開催された地域の交流イベントなどにも参加し、増毛の地場食材を活かした安全安心な食品のPR活動を行っています。

ここが自慢

【合成保存料は一切使用せず】

商品は果樹園で直売のほか、地元の量販店や飲食店、宿泊施設などで販売しています。

「かあちゃん漬け」はその年に畑で採れた野菜や果樹を、一年かけてじっくり漬け、翌年に販売となります。

合成保存料は一切使用しておりませんので、体に安心です。



販売コーナーの様子

■代表者 富野 良子さん

■設立 2006年

■会員 3名